

## 大学院特別講義 (医歯学先端研究特論)

<講師>

川添記念病院精神科医長 本村春彦 先生

<タイトル>

臨床における「自己」イメージ例

<日時>

平成 24 年 3 月 30 日 (金)

18 : 00~20 : 00

<場所>

1 号館 6 階 演習室 3, 4

<内容>

ひとの精神構造における「自己」イメージは精神科臨床に携わるものにとって、必要不可欠のものであるが、科学的に証明され、確立された概念はない。長年の臨床経験を経て少しずつ各々の「自己」イメージを創り続けていくしかなく、臨床医の数だけ概念があるといっても過言ではない。今回の講義の目標は、「自己」イメージ例を紹介することで、臨床医がどのように疾患を理解しようとしているか、を少しでも感じてもらえることである。

<コメント>

「幻覚妄想とはどんな感じのものか？」の内容をさらに掘り下げ、なかなか捉えにくい「自己（自我）」というものを感覚系、思考・感情系、社会系の 3 つの切り口からどう理解していくかについて、臨床に即してお話して頂きました。

「意識」の問題にも関わってくる話題で、少人数でじっくり難問を考えました。



元国立精神・神経センター歯科の中村廣一先生にも「クオリア」と絡めた示唆に富むご質問を頂き、遅くまで熱心な議論が続きました。